

## 徳島県におけるカバマダラの記録 —2009年の調査より—

佐々木孝明<sup>1</sup>・小笠 航<sup>2</sup>・豊崎 勲<sup>3,4</sup>

[Takaaki Sasaki<sup>1</sup>, Wataru Ogasa<sup>2</sup> and Isao Toyosaki<sup>3,4</sup> : Records of *Anosia chrysippus* in the Tokushima Prefecture, Shikoku, Japan]

### はじめに

2009年夏から秋にかけて、カバマダラが発生した。筆者らはクロマダラソテツシジミの調査を行う中で、美波町の数カ所で本種の発生を確認できた。本種は迷蝶としての採集記録が報告されることは多いが、発生状況が継続して調査・報告されることはあまり多くない。徳島県における発生記録は大原（1999）しかないようである。今回、阿南市と美波町の一部だけではあるが、発生の経過を調査できたのでその結果を記録しておきたい。本種の飛来に関する情報を提供下さった有田忠弘氏と、調査にご協力下さった天羽龍太郎氏、分布域などの情報を下さった鹿児島県の二町一成氏に厚くお礼申し上げる。

### 発生の記録

カバマダラが県南部で発生しているという情報は、海陽町（旧海南町）の有田忠弘氏が、8月14日に自宅庭のトウワタにて幼虫を発見したことを佐々木に連絡いただいたことに始まる。有田氏のお宅では以後これらの食草で発生を繰り返したとのことである。

#### (1) 阿南市椿町上地

9月6日：椿小学校付近の路上を飛翔中の1♀を採集（小笠）。

#### (2) 美波町志和岐

9月25日：集落内のトウワタ群落（本数は少ない）では卵から幼虫、成虫など発見できず。

10月11日：トウワタの付近を調査したが、卵、幼虫、蛹や成虫など発見できず。

#### (3) 美波町由岐駅付近

---

2010年1月31日受付，2月27日受理。

<sup>1</sup> 〒779-1243 徳島県阿南市那賀川町上福井 131-13. Kamifukui131-13, Nakagawa, Anan, Tokushima 779-1243, Japan.

<sup>2</sup> 〒774-0044 徳島県阿南市上中町 143. Kaminaka 143, Anan, Tokushima 774-0044, Japan.

<sup>3</sup> 徳島県立博物館，〒770-8070 徳島市八万町文化の森総合公園. Tokushima Prefectural Museum, Bunka-no-Mori Park, Tokushima 770-8070, Japan.

<sup>4</sup> 現住所：牟岐小学校，〒775-0007 徳島県海部郡牟岐町中村字本村 14. Mugi Elementary School, Nakamura, Mugi, Tokushima 775-0007, Japan.

- 9月25日：駅前を飛翔中の成虫3個体確認。線路沿いのトウワタにて卵を発見した。  
10月1日：1♀（やや破損）採集。他に交尾中のペアをはじめ成虫4～5頭見られた。  
トウワタから卵を発見。  
10月11日：成虫5～6頭確認。  
10月13日：成虫1♀目撃。  
10月23日：成虫1♂（やや破損）1♀（新鮮）目撃。  
10月28日：成虫1♀（やや破損個体）がクモの巣にかかって死亡していた。他に2頭飛翔中。  
11月23日：成虫1♀，幼虫1～3令が少数見られた。

(4) 美波町由岐田井

田井公民館から白鳥神社付近で成虫1♂1♀（新鮮）発見。付近の民家の庭にあるトウワタで発生した模様。

(5) 美波町木岐

延命寺付近

- 8月23日：1♂（破損なし）を採集。付近を調査し木岐漁港近くの花畑に植えられていたフウセントウワタ（1本），トウワタ（多数）から多くの卵を発見。成虫2♀を目撃。  
8月28日：木岐漁港でフウセントウワタ，トウワタに1～3令幼虫多数。成虫は見られず。  
10月1日：飛翔中の♀成虫1頭確認。

(6) 木岐漁港付近

8月23日：漁港近くの花畑に植えられていたフウセントウワタ（1本），トウワタ（多数）から多くの卵を発見。成虫2♀を目撃。



図1. カバマダラ，♀。由岐，2009年10月10日。



図2. カバマダラ，幼虫。由岐，2009年8月28日。

- 8月28日：フウセントウワタ，トウワタに1～3令幼虫多数。成虫は見られず。  
8月31日：蛹1個（寄生されていた）と，3～終令幼虫1頭以上確認。  
9月2日：成虫1頭（飛翔中）と，終令幼虫多数発見（天羽龍太郎氏同行）。  
9月9日：付近で成虫4～5頭（飛翔中）。漁港でトウワタに産卵中の1♀を目撃。トウワタには卵～若齢幼虫多数あり。  
9月14日：漁港のトウワタで中令～終令幼虫を多数確認。  
9月17日：漁港で成虫2♂1♀を確認。フウセントウワタ（1本），トウワタ（多数）で卵～2令幼虫確認。  
9月19日：トウワタで卵～2令幼虫，多数確認。成虫3頭（飛翔中）確認。  
9月25日：木岐漁港で成虫1♂1♀確認，トウワタで卵～終令幼虫確認。  
10月1日：漁港のトウワタで卵及び3～終令幼虫10頭ほど確認。飛翔中の成虫2頭確認。  
10月11日：成虫1♂1♀目撃。トウワタには卵が多数見られた。  
10月12日：成虫2♂1♀採集（豊崎）。  
10月28日：成虫1♀確認。トウワタには数卵見られた。  
11月23日：成虫，卵～幼虫も見られなかった。

#### 2009年の発生について

本種の本来の分布北限域がどの辺であるかは，最近の温暖化の状況からもなかなか難しい所であるが，それでも鹿児島県本土南端（指宿市や佐多岬など）での完全な越冬は難しいとの事である（二町一成氏，私信）。屋久島などでも年によるばらつきはあるようで，夏に四国などで発生した場合，南方から飛来した個体，あるいはそれらの子孫であるのか，または人為的なものを疑うべきかは，非常に難しい問題がある。

しかしながら，それだからといって記録を全くせずに終わることは，後で検証したくても

何の情報も残らないことになる。これはどのような形であれ、分布の拡大や越冬状況などがわかるような記録を取っておくべきであり、このような記録を積み重ねることは決して無駄ではないと考える。

#### 引用文献

大原賢二. 1999. 徳島県海部川流域のガガイモで発生したカバマダラ. 徳島県立博物館研究報告, (9) : 53-56.